

友の会 会報

第59号

令和7年11月1日発行

編集・発行／愛媛県歴史文化博物館友の会

〒797-8511 西予市宇和町卯之町4丁目11番地2 TEL.0894-62-6222

会員特典

- ①常設展・特別展を無料もしくは割引で観覧できます。
- ②友の会主催行事に参加できます。
 - ①研修旅行(年1回)
 - ②現地学習会(年1回)
 - ③歴史ウォーク(年1回)
 - ④クラブ活動(土器ドキクラブ、裂織クラブ、古文書クラブ、民俗クラブ)
- ③展示説明会に参加できます。
- ④「歴博だより」等の博物館情報をお送りします。
- ⑤季節イベントの材料費が割引になります
- ⑥博物館刊行物が割安で購入できます。

投稿

友の会では、会員の皆様からの原稿を随時募集しています。歴史や文化に関すること、あるいはクラブにおける発表内容をまとめたものの他、会員同士の交流の話や友の会に参加して感じたことや写真など、いつでも事務局へお寄せください。会報に掲載させていただきます。

令和7年6月15日(日)、令和7年度の愛媛県歴史文化博物館友の会理事会・総会を博物館で開催いたしました。



令和7年度友の会理事会・総会を開催

参加役員は上甲泰正会長、山下平重副会長、山本浩二理事、宇都宮明彦新監事、岩瀬恵子監事、中井慶仁新顧問、井上淳理事、西下修作新理事です。

総会は15時15分から開催され、7名の方に役員改選、令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支計画等を可決・承認いただきました。

この結果、左の通り本年度の会員特典が決まりましたので、改めてお知らせさせていただきます。なお、本年度友の会事業内容について、随時、会員の皆様のお声を伺っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和7年度会員

友の会では、随時会員を募集しています。周囲に入会を希望される方がいらつしやいましたら、是非お勧めください。

入会方法は、①博物館へ直接お申し込みいただくか、②郵便局に備え付けの振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の区分など、必要事項をご記入のうえ、最寄りの郵便局で友の会の口座にお振り込みください。



令和6年度研修旅行

会費		個人		家族	
10月1日より半年分		小	中	一般	高校
0161045873	円	2500	5000	1500	2000

鬼北・松野町の歴史と文化―

小西野々の村落景観く目黒ふるさと館



小西野々にて

道が現在でも近い状態で残っていることがわかりました。また絵図では寺院が描かれている場所に現在集会所が建てられていたり、高札場があった場所がゴミステーションになっていたり、形は変わっていますが、人が集まる場所や皆知っている場所には同様の役割を持った施設があることなど、井上課長より解説がありました。ポイントごとに詳しい解説があり、皆さん大変興味深い様子で探索をされていました。

昼食をはさんで、次に奥内の棚田を見学しました。こちらでも井



奥内の棚田



目黒ふるさと館

上課長より車中で概要の説明があり、現地では上から見下ろす形で棚田を見学しました。棚田は石垣を組んで作られています、高いところでは4mを超える箇所もあり、また城郭普請にも通じる技法が導入されていることなどの解説がありました。

奥内の棚田を見学後、最後に目黒ふるさと館を訪れました。目黒ふるさと館は庄屋敷を再現した資料館で、家具や農具などの民具が多数展示され、当地の生活や文化を知ることができる施設です。また所蔵されている「目黒山形関

係資料」は国の重要文化財に指定されています。

見学ではこの「目黒山形関係資料」を中心に解説がありました。この資料は江戸時代に吉田藩目黒村と宇和島藩治郎丸村との村境争論の過程で作成された資料で、特に目を引くのは巨大な山形模型です。模型は6個に分割されていますが合わせると約1.9m×約2.5mの大きさがあり、標高に合わせて掘り込みがされ、土地の利用に合わせて着色され、人家や道、河川なども記されています。また関連資料も合わせて展示されており、幕府の裁許を後世に伝えるための重要文書として保管管理されてきたことなど、それぞれについて井上課長より詳しい解説がありました。

今回の現地学習会は大変暑い中での実施となり、また道中での迷惑をおかけした部分もあり、事務局としてこの点は改善していきたいと思っています。

内容に関しましては皆さんより好評を頂き、特に絵図と見比べての現地探索や山形模型に興味を持って頂いた様子でした。

今後も充実した内容の見学会を実施していきたいと思っております。皆様お疲れさまでした。

9月7日(日)に現地学習会「鬼北・松野町の歴史と文化―小西野々の村落景観く目黒ふるさと館」を開催しました。当日は快晴で12名の方にご参加いただきました。博物館からは井上課長、事務局原崎が同行しました。

歴博を出発後、バスの車中で井上課長より最初に訪れる小西野々地域についての概要説明があり、それを踏まえて現地を見学しました。見学時は宇和島藩が作成した詳細な絵図を片手に、絵図と現在の景観を比較しながら探索しました。絵図と見比べると江戸時代の

映像上映会 解説会

「織る」と「編む」 ～ペルーの織物と長野の盆行事～

7月26日(土)、博物館多目的ホールにて映像上映・解説会「織る」と「編む」～ペルーの織物と長野の盆行事～を開催しました。当日は8名の方が参加されました。上映会では国立民族学博物館所蔵の「織物のかたち ペルーで見つけた異形の織物」(2005年)、「盆棚作り 長野県秋山郷」(1978年)、「お盆の豆腐づくり 長野県秋山郷」(1978年)の3本の映像資料を鑑賞しました。鑑賞の前後ではペルーの映像に関しては三浦学芸員より、長野県の映像に関しては松井学芸員より解説がありました。多様な「織る」「編む」の姿や長野と愛媛の比較などの解説を皆さん真剣に聞かれていました。



展示解説会 テーマ展 絵で見るえひめの遺跡

7月12日(土)、考古展示室にてテーマ展「絵で見るえひめの遺跡」の展示解説会を開催しました。当日は11名の方が参加されました。考古イラストレーターの第一人者である早川和子氏の遺跡復元画について、富田学芸員より解説がありました。解説では早川氏の復元画について、動植物を多く描いて和やかさや季節感をだすとともに、緻密な取材にや学術研究に基づいた正確な復元図を描くことで、見た人がイメージしやすい作画となっていることなどが紹介されました。一つ一つの復元についても詳しく解説があり、参加者の方からの質問もあったりと、終始熱の入った解説会となりました。



展示解説会 テーマ展 戦後80年 戦時下の暮らし

7月12日(土)、文書展示室にてテーマ展「戦後80年 戦時下の暮らし」の展示解説会を開催しました。当日は11名の方が参加され、解説は平井学芸員が行いました。展示では子どもたちの世界にまで戦時色が色濃くなっていく中、統制経済の中での人々の暮らしの具体的な様子や、出征していく男性とそれを見守る銃後の女性の様子、また実際に空襲を体験した方の聞き取り調査があり、それぞれについて平井学芸員が丁寧に解説しました。タイトルにもある通り、今年は戦後80年の節目の年ということもあり、参加者の方も熱心に聞いておられました。



特別展

ヨシタケシンスケ展 かもしれない

会期:令和7年9月20日(土)～11月24日(月・休)

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』(2013年)以降、幅広い世代をひきつけているヨシタケシンスケ。初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。発想の豊かさに支えられたヨシタケさんの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。



博物館行事のご案内

開館31周年記念イベント

日時: 令和7年11月30日(日)

愛媛県歴史文化博物館は平成6年11月19日に開館し、今年の11月で31周年を迎えます。11月30日は開館記念イベントとして恒例の「はに坊のどんぐりマルシェ」を開催します! 観覧料も無料となっておりますので、ご家族やご友人をお誘いあわせの上、ぜひお越しください。



はに坊のどんぐりマルシェ

土器ドキクラブ



考古学(土器や石器、古墳や遺跡)に興味を持っている方を対象に、主体的に学習し、会員相互の親睦を深めていくクラブです。

日時:不定期

※令和6年度は1月13日(月) 第2回現地学習会との共同開催で、「鬼北・松野町の歴史と文化」を実施し、また2月24日(月)にテーマ展「松山外環状道路と遺跡の調査」の展示解説会を実施しました。

裂織クラブ



裂織クラブでは、身近にある使わなくなった布を利用して、卓上織り機などを使って新たな布へと再生し、コースターやカバンなどの作品を制作しています。

会員相互で教えあいながら、和やかにクラブを進めています。活動日には見学もできますのでお気軽にお越しください。

日時:主に第1月曜日と第4日曜日 9:00～17:00
場所:ミーティングルーム

民俗クラブ



民俗クラブは、愛媛の民俗に関する勉強会や実際に現地を訪れて学習会を行っています。

日時:不定期

※令和6年度は8月3日(土)に第1回現地学習会との共同開催で「八幡浜市の歴史と文化」を、3月16日(日)にヘルシー歴史ウォークとの共同開催で「明浜ウォーキング」を実施しました。また3月9日(日)特別展「宇和海のくらしと景観」の展示解説会を実施しました。

古文書クラブ



古文書クラブは現在10名程度の人数でくずし字を読めるようにし、内容を理解した上で、その時代の雰囲気を感じられるよう活動を行っています。

ちょっと難しいかもしれませんが、会員相互で教えあいながらゆっくりと学んでおりますので、興味のある方は気軽にご参加ください。年に1回、現地学習会も行います。(※今年度は未定)

日時:主に第3木曜日 13:30～15:00
場所:第2ミーティングルーム

※各クラブについて、新しく参加を希望される方はお気軽に事務局までご連絡ください。

予告
特別展

伊予の経塚名品展 ～堂ヶ谷経塚と松溪経塚～

会期:令和8年2月14日(土)～4月5日(日)



伊予市 堂ヶ谷経塚出土経筒・経巻

経典を容器に入れて埋めた経塚は、経典をはるか未来まで残すためにつくられたタイムカプセルです。平安時代末期より極楽往生や追善供養のため盛んに営まれるようになり、鎌倉時代にかけて流行しました。本展では保存修理を行った県内最古の紀年銘をもつ堂ヶ谷経塚出土品を初公開します。さらに初の里帰りとなる松溪経塚出土品や陶磁器としても価値の高い石手寺経塚出土品など、県内各地の経塚出土の名品や埋納された仏教遺物も紹介。経典を埋めるという行為や込められた祈りに注目し、経塚の魅力に迫ります。

賛助会員

宇和史談会、愛媛県歴史文化博物館 親睦会、えひめバス旅行有限会社、上甲耕三、西予市商工会、父田翔一、山本浩二、弓立愛(敬称略)